

令和元年度第2回富津市創生会議 会議録（要旨）

1 会議の名称	令和元年度第2回富津市創生会議
2 開催日時	令和2年2月19日（水） 午後1時30分～午後3時54分
3 開催場所	富津市消防防災センター1階 会議室
4 審議等事項	第2期総合戦略（案）について
5 出席者名	富津市創生会議委員（8名） 岩沢宏幸、オノミチ三由紀、小泉 晴信、島野 勝弘、 鈴木 敏夫、鈴木 裕士、鈴木 文江、武次 治幸 事務局（10名） 市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、 総務部長 白石 久雄、総務部参与 前田 雅章、 総務部次長 秋嶋 隼人、企画課長 坂本 秀則、 企画課企画係長 田内 友臣、企画課主任主事 山田 誠、 企画課主任主事 鶴岡 隆樹、企画課主事 田澤 佳美 事業担当課（22名）
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	1人（定員 20人）
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

富津市創生会議 会議録署名人

会議録署名人

令和元年度第2回富津市創生会議 会議録（要旨）

発言者	発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用 会議録署名人は、岩沢宏幸委員及びオノミチ三由紀委員</p>
武次会長	<p>議題（1）に入る前に、会議の趣旨及び議事進行について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>本日の会議の趣旨は、議題（1）第2期総合戦略（案）について、委員の皆様方からご意見等をいただき、今後作成する第2期総合戦略（完成版）に反映させることである。議事進行は、第2期総合戦略（案）については基本目標ごとに全体で議論をお願いする。委員の皆様方からのご質問等については、同席している事業担当課が対応し、また意見交換等のやり取りをさせていただく。</p>
武次会長	<p>事務局の説明に対し、質問はあるか。</p>
委員	<p>特になし。</p>
	<p>4 議題 （1）第2期総合戦略（案）について</p>
武次会長	<p>それではまず、議題（1）第2期総合戦略（案）について、事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>素案から案作成までの経緯、第2期総合戦略（案）の内容等について、資料1及び2を用いて説明。</p>
武次会長	<p>それでは最初に、基本目標1について質問、意見はあるか。</p>
島野委員	<p>子育てを基本目標1として最初にしたということは、意思の表れかと思うが、3つの基本的な施策の方向については、課題が少ないものが多いものがあり、どんな課題観なのか。そもそも、課題に対して担当部署がっているのか。このへんについてどう考えて課題設定をされたのかを教えてほしい。</p>

事務局

各基本目標における基本的な施策の方向の課題については、市民委員会や市民アンケートの中で記載のあった事項を基に課題設定をしている。課題と直結した記載等がぱっと見て分かりづらいものもあると思うが、課題解決に向けて市で行うべき事業を掲載している。ここには5年で行う全ての事業が載っているわけではないので、今後、課題解決に向けて新たに取り組む事業等については、毎年度、ローリングして事業を掲載していくという前提で現在作成している。

島野委員

例えば、客観的なデータとして、富津市が他の自治体より遅れているとか、劣っているというような事実ベースのものがあると良いと思っている。アンケートに頼ることは当事者からの不満とかもあるのでそれは悪くはないと思うが、そういう課題設定の仕方だと優先順位が付けづらいと思う。もう少しそのへんを工夫すると良いと思う。結局、この課題の優先順位が施策の順位につながってくるところだと思う。

事務局

総合戦略は、人口ビジョンの将来展望実現のために取り組んでいく具体的な施策・事業を掲載する計画になっている。分析という点では、まだ不足している部分もあると認識している。昨年度、人口ビジョンの現状分析ということで最新のデータを使い、その経緯を公表したが、大きな変化がないというのがある意味特徴であり、出生率が伸び悩んでいる点、市の人口の年齢別構成にも大きな変化がない点、他市への流出が続いている点等を分析している中で、この課題設定についてもそこにつながるような形で市民意見を整理しているという部分もあるため、ご理解いただきたい。

島野委員

主旨は分かった。もう一つはお願いだが、例えば基本的な施策の方向で①、②、③とあるが、この施策自体は、単に他の自治体でも類似の事例があるのではないかなと思う。前回の会議でも山口委員が言っていたと思うが、出会いの場の創出についてはあまり上手くいってないケースがあって、上手くいかせるのは相当難しい事業なのではないかと思っている。基本的な施策の方向②については、いろいろな自治体が上手い取組をやっていると思うので、また、市としても案がたくさんあるのでいいのかと思ったのと、基本的な施策の方向③については、これも上手くいっている自治体は、少数だがある。そういうところを上手くベンチマークをして施策に落とししていくのが良いのではないかと感じた。

鈴木（文）委員

本来であれば子育てしやすいということ目標値は70%、80%というのが本当の目標だと思った。また、前回の時も話したが、出会いの場を促すというのは非常に難しいことだと思う。堅苦しくない場が必要だと思っている。しかし、前回拝見したものよりもいろいろな施策が出ているので、良くなっているように感じた。

オノミチ委員

大きなことを言わせてもらおうと、最初に結婚というところではなく、子育てに対して力を入れるんだという基本的な施策の方向②を最初もってきてもうかと思った。出会う機会を増やすこと、地域で子どもたちが育っていくこととあるが、私の住む大貫では地域の中で結婚して、その中で子どもを育てている方が多い。結婚というのは最終的なものであり、スタートでもあるが、最初に子育てに力を入れているということを知っていただくことも大事なことなのかなと思うので、基本的な施策の方向②を最初にして、次に教育、最後に結婚というのはどうか。

事務局

いただいたご意見等は、市の方で検討していきたいと思う。

小泉委員

基本的な施策の方向②の中の「子育てできる環境を整える」ということについて、「チャイルドシート貸付事業」は、たまたまこの会議に出させてもらっているから知っていた。周りで子どもが生まれたり、お孫さんが生まれたりという時に、チャイルドシートを買おうとしている方にはこういう事業があると教えている。委員の皆さんが言っているように、市がこういう取組をしますよというのを、もう少し周知したほうが良いと思う。

鈴木（裕）委員

基本的な施策の方向③の施策1の「地域の特色ある教育による、ふるさとに愛着を持つ子どもの育成」について、金谷で年に何回か房州石のことを話す機会があるが、ここ数年、回数が減ってきているような気がする。それはやはり学校も先生もだんだん少なくなり、大変だなというのが分かるので仕方がないかもしれないが、愛着を持つということであれば、「まちの先生」という取組をもう一度見直し、授業のカリキュラムに入れては良いのではと思う。今度、南部の4校が統合になるので、他よりも素晴らしい地域の良さを子どもたちに小さいうちから教育する機会を設けていけたら良いと思う。

教育センター

房州石の話がされているというのは金谷小学校の児童を対象に行われているのかと思うが、とても良い取組だと思う。総合的な学習等で地域に関する学習を行っていくということで、一つテーマに掲げてやっている学校も多いので、またそういったところと調整しながら進めていきたいと思う。

鈴木（敏）委員

こちらの資料を見て、すばらしくまとめあげられているなど実感しているが、課題の量に少しばらつきがあると思う。これまでPDCAを回している中で、課題は少なからずもう少し出ているのではと思う。課題が少なく問題がないのであれば良いのだが、そうでないのであれば、もう少し課題があるのではないかなと思う。

PDCAについて、管理サイクルは年間で回すのか、5年で回すのかを教えてください。

もう一点、行政の取組というのは実行計画つまりアクションプランで回すと思うが、行政以下の「地域・民間ができること」、また、「市民ができること」について、どのように実施されているのかを確認するのが見えなかったので教えてもらいたい。

事務局

確認だが、PDCAについては、5ページの基本目標1の数値目標達成に係るPDCAをどのように確認するのか、そういったまずは大きいところでよいか。

鈴木（敏）委員

この戦略に付随して実行計画を作成していると思うが、この戦略というのは5年ベースのマスタープランであって、PDCAを回すのは実行計画で1年おきに回していくと思う。5年周期のものがあり、実行計画を1年間回していく中で、課題というのはクリアすれば総合戦略から外れていくのか。PDCAの回すサイクルが違うものを、一緒に進めていく中で、どのように総合戦略を進めるか、上手に言えないが、管理サイクルの違うものをどのように管理しているのかを教えてもらいたい。

事務局

総合戦略の計画期間である5年間の枠組みを外したところから話をすると、2040年に人口34,000人を目指すというのが富津市の人口ビジョンで掲げる将来展望で、そこに向けた具体的な取組等を定めていくのが、総合戦略であるという一番大きな枠組みの関係がある。総合戦略については、2040年の将来展望達成に向けて、5年区切りで計画期間を定め、取り組んでいくというものになり、今回提示させていただいているのが第2期ということになる。そして、第2期総合戦略においては、基本目標1の数値目標「子育てしやすいと感じる世帯の割合」を、5年間で50%に上げていこうというのが、まずは5年間での目標である。この達成状況については、同じレベルでの調査をすべきだと考えており、具体的には平成30年度に実施した市民アンケートを同じような形で、第3期の総合戦略の前年等で実施し、数値目標の達成状況を確認していく予定である。この数値目標を達成するために、基本的な施策の方向を基本目標ごとに、複数置いている。そして、基本的な施策の方向に向かって、行政で考える施策をそれぞれ掲げている。そして、その施策に該当する個別事業を掲載しているという構造になっている。個別事業については、翌年度の当初予算を反映させた形で、毎年度、取組内容についてローリングをしていく。また、個別事業ごとの目標値を設定するので、個別事業のPDCAは、そちらの達成状況を見て取組内容や新規取組を検討していくという形で回していきたいと考えている。そうして、一つひとつの事業の目標をクリアしていくことが、総合戦略に記載している施策・事業の目標値を達成することにつながると市では考えている。そして5年後に、数値目標、基本目標1であれば50%の達成につなげていくという計画のつくりをしている。

鈴木（敏）委員	<p>PDCA で回して、改善というところだが、前回の総合戦略と第2期の総合戦略との間の改善というのが、課題として上がってくるべきではないかと思う。市民の声というのは分かるが、アンケートだけだと、このPDCAサイクルを回した改善策とか課題が、表に出ていないのかなと思ったので、上手に説明ができず申し訳なかったが、そこが本来ここに上がってくるべきではないかと思った。</p>
事務局	<p>次回3月の創生会議では、個別事業に係る実行計画書を出させていただく予定である。そのシートの中で、事業の自己評価欄という枠を新たに設けようと考えており、これまでの事業への取組を勘案した上で、令和2年度からの取組をどのようにやっていく、考えていくのか、反省点等を記載していこうかと現在予定している。</p> <p>もう一点質問をいただいた、行政の取組以外の「地域・民間ができること」、「市民ができること」については、結論から申し上げますと、実際に実行できているかということの確認は、取れません。取る方法が無いという部分があり、策定方針の中で、「地域・民間ができること」、「市民ができること」に対するPDCAというのは、困難であるという前提であり、総合戦略自体が行政だけではなく市民の皆様と一緒に取り組んでいくんだというスタンスで作らせていただいていますので、市民意見等を反映させるような形で策定をしているのが現状である。</p>
鈴木（敏）委員	<p>説明が上手く出来ないため理解してもらえてないのかなと思うが、5年周期の総合戦略で上がってくるべき課題と、実行計画書の中で進めてきている1年サイクルのPDCAでの課題があるが、サイクルの違う中で個々の課題というのは、実行計画書の中で個々につぶしていくという話だが、この5年周期で回す総合戦略にまたもってくる時に、本来その課題も上がってくるべきではないのかなと思っている。確かに今回この総合戦略は、市民の声というのをベースにはしているものの、個々の実行計画を回しながら、近隣がこういう動きをしているだとか、良い動きをしていればそれをまねする、そういったところも含めて課題をこの第2期にもってくる方が、より良いものになると思っている。あくまでも意見である。</p>
武次会長	<p>今の話は、全体として課題は、なかなか解決できなくて、ある程度延びていくと思う。だから、大まかに前回は踏まえて、どのへんの部分がちょっと進んでいないだとか、こっちは進んだけど、こっちの方が進んでいないから、もう少し力を入れてやろうとか、そういうようなコメントがあれば分かりやすいと思う。個々の事業は、数値が出ているので、大まかなコメントとして、そういうものがあると非常に分かりやすいというような気がした。</p>
岩沢副会長	<p>全体的な話として、構成は前回は踏襲してこのような構成になっていると思うが、市として次の戦略で一番力を入れている施策については、</p>

一番先に載せた方が分かりやすいと思うので、前回の構成とは少し修正があっても良いと思った。

次に、数値目標の考え方の中で、「子育てしにくいと感じる世帯の割合」が10.1%減少していることは非常に良いことだと思うが、これは市が何かやったからこの数値になっていると思うので、どのような点が良かったのかを教えてください。

最後に、いろいろなことを教えてくれる「まちの先生」をもっと公表し、学校が選びやすいように、歴史的、地理的、産業的などに分類し、各学校で選択できるようにすれば良いと思う。

子育て支援課

何をやったからこの「しにくいと感じる人」が減ったのかというご質問だと思うが、一つに限らず、経済的な面では第3子以降の保育料無料化を行った。また、それ以外にも、小さなことではあるが、チャイルドシートの貸付、新生児紙おむつ処理用のごみ袋の支給などを行うのと、安心して過ごせる場所や子育てに困った時にちょっと話を聞いてほしいとの声があったので「集いの場なかよし」の設置、ファミリーサポートセンター、「子育ての話何でも聴きます窓口」など、きめ細やかなものを取組として重ねてきた結果が、このように表れてきているのではないかと、担当では考えている。

高橋市長

基本目標の順番については、第1期の基本目標3を第2期では基本目標1にすることで、子育てに市が力を入れているというのを表している。施政方針の中でも、まち・ひと・しごとの創生については、まず「ひとの創生」だと訴えている。そういう意味では、私も、その順番を分かりやすく、メッセージとして伝わるようにという形でやっていて、その次の基本的な施策の方向に関しては、基本的な生活の流れの中で、結婚して子どもが生まれて教育、というのがイメージだったので、そのへんも改めて、分かりやすいのかどうかということを含めて、検討していきたいと思う。

島野委員

基本的に出生率の向上については、すごく大きな施策課題で、基本的には国の課題だと思っているが、自治体ができることはそれほど多くないかもしれないなと思って聞いていた。フランスは、出生率が向上している先進国の一つであるが、基礎控除の増加、教育の無料化、児童手当の増加など、分かりやすくお金で攻めている。フランスの場合は、確か子どもが3人目、4人目くらいになると、その家の可処分所得が増える、それくらい児童手当を厚くしている。そういう先例があるので、県や国とかに話をするときには、そういう事例を踏まえた上でいろんな相談をしたら良いと思う。また、自治体ができる例でいうと、明石市がすごく教育や子育てを充実させて人口増加等に結びつけている例がある。是非そのあたりを研究されると良いと思う。

武次会長

次に、基本目標2について質問、意見はあるか。

島野委員	<p>先週、市民会館で大学生の提案会があり、ああいう形で外の人が褒めてくれるというのはとても良いことだと思った。今日この施策を拝見していて、そのような活動がどこに入るのかが、分かりにくい。せっかく上手いきそうな施策なので、明確に取り入れると良いと思った。</p> <p>もう一つは、先日のそのイベントの時に思ったのは、大学生がたくさん来てくれて、区長やいろんなことと触れ合ったと思うが、子どもたちともっと彼らに触れ合わせる機会を作れると良いと思った。夏休みに宿題などを見てくれたりする取組も知っているが、せっかく大学生がたくさん来るようになってきているので、是非そのへんはアイデアを少し広げてやられると良いと思った。出ていない方には恐縮なのですが、簡単に申し上げると、大学生が3泊4日で富津に泊まって、富津の良さをアピールしようというようなことを提案する会で、先週それを拝見したので、それを踏まえて発言した。特に答えはいらないです。</p>
企画課	事業内容については、担当部署と検討して進めていきたいと考える。
鈴木（裕）委員	<p>11 ページの数値目標のアンケート調査の結果が、前回から悪くなったことがショックだが、どのような形で調査したのか聞きたい。</p> <p>私たち地元に住んでいる人は、地元の良さを気づかないということがよく言われているが、やはり地元の方は、これがないとか、あれがないとか、欠点に目がいく。外からの人は、「あっ、こんな良いところがある」というように良いところに視点が行くのが良さだと思うが、やはりそういう声をもっともっと拾い上げることができれば良いと思う。やはり外からの声が強くなると住んでいる人もそういう気になるというか、こういうものをなんか上手く施策に利用できないかと思う。私たちもいろいろな活動をしているが、地域外の人もいろいろな形で応援してくれているので、もっともっと地元でも宣伝していかなければと思う。</p>
事務局	アンケートにおける質問としては「富津市に誇りや愛着を持っていますか」という問いへの回答になる。
鈴木（裕）委員	前回と同じか。
事務局	前回と同じです。
武次会長	<p>前回の創生会議の時も、マイナス面をみるときりがないので、良い方をどんどんアピールして前向きにいこうという話が多分出たと思う。そのへんの視点もどうぞよろしくお願いします。</p>
小泉委員	<p>14 ページの消防団について、最近、消火栓の所に昔はあったホースをしまっている箱がどんどん無くなっているが、ホースはどこにあるのか。それがあって、今まで消防団が到着するまで、地元の人が初期消火等をしてくれていたので、ホースの場所を教えてもらいたい。</p>

消防総務課

市内消火栓の付帯設備として、これまで市政開始から維持してきた消火栓ホースは、老朽化が著しく、一旦廃止をして、自主防災組織に対して消火資機材として交付している。現在、48の自主防災組織に対して交付が済んでいる。また、昨年から今年にかけて増えた7団体に対して新たに追加交付している。自主防災組織に資機材の管理していただきたい、また点検を含めて訓練をしていただく中で消火栓等の正しい使い方を学んでいただきたいという趣旨で実施している。

武次会長

私は小泉委員と同じ自治会の役員をやっているが、この前、消防本部から、消火栓の位置等の地図をもらっており、その周知と使い方の講習を来年度やろうと思っているので、よろしくお願いします。

鈴木（文）委員

富津市の外への発信について、昨年7月に JR とのコラボで竹岡駅から上総湊駅までの地域を見ながら歩くイベントがあり、私たち住んでいる者も参加し、知らなかったこと、当たり前だと思っていた景色に驚いた。そのイベントの発信も、ホームページや Facebook で拝見できたのがとても良かったので、継続してもらいたい。また、外に情報を発信する方法については、Facebook 以外にもあるのかと思うし、情報等を置く場所とかがあれば良いと思った。

オノミチ委員

まず自分が地域を好きになるということが一番大事だと思う。また、「地域・民間ができること」、「市民ができること」については、市民としては行政と一緒に作り上げていく部分である一方、行政と一緒に考えてくれたと感じる部分であると思うので、すごく大事である。協働していけたらと思う。

島野委員

市の情報を知り得る機会が少ないというのは、市民の側から見て市の情報を見る時に、ワンストップになっていないということかと思った。デジタル的な手段は一つにまとめるようなやり方が良いと思った。また、せっかくインターネットを使えない人たちのために広報ふつつもあるので、それをもう少し充実させた方が良いと思った。なお、広報ふつつは電子化されて PDF になっているだけで、あまりその情報が活用されていないような気がした。例えば、広報ふつつのコンテンツが十分でないところをデジタルのところで補うとか、逆に、市のサイトを開いて、広報ふつつのところにたどり着いて、その書いてある内容もちゃんと網羅できるとか、何かそんなことができるか良いと思っている。あれもありますこれもありますというふうにやってしまうと、なかなか浸透しないので、主なものを一つずつ、デジタル的な手段、アナログ的な手段みたいな形でプッシュしていけば良いと思う。あと、リアルタイム性が高い情報は市の Facebook で発信しているのも拝見している。リアルタイム性が高いものは Facebook やツイッターに頼るしかないと思うので、是非そこも充実させてほしい。前回の災害の時も、私としては十分に発信

	<p>されていたとされていて、あとはどうやってそれを発信されていること自体を知らしめるかということが課題かと思っている。</p>
鈴木（文）委員	<p>消防、防災に関して、自主防災組織とは、地区の消防団の人か。</p>
防災安全課	<p>自主防災組織は、地区の消防団ではなく、地区で組織しているものである。</p>
鈴木（文）委員	<p>地区とは、具体的に説明してほしい。</p>
防災安全課	<p>行政区ごとに組織されているところや、もう少し小さい単位で組織されている方々もいる。</p>
鈴木（文）委員	<p>台風の前に地区で消防の方と話した時には、実際にその地区に住んでいる人でなければ分からない危険な場所があるということをお話した。例えば、そのような方に来ていただいて地区のみんなと防災についての話をできたら良いなと思った。そういう人たちに来てもらい話をしてもうするためには、市に何か手続きがいるのか教えてほしい。</p>
防災安全課	<p>防災安全課では、出前講座というものを実施している。要望があれば、企画課に申請していただいて、何人か集まってもらえればそちらに伺う。また、消防団も来てほしいということであれば同席させていただき、出前講座等で皆様に防災講座等を実施させていただく。</p>
鈴木（文）委員	<p>出前講座には地区で消防団に入っている方も入ってもらえるのか。</p>
防災安全課	<p>はい。消防にも要請を出させていただいて、例えば、一緒に防災訓練をやりながら、消火訓練やAEDの操作を訓練できる。</p>
鈴木（文）委員	<p>市民が直接できるようなことをしたいし、できたら良いと思う。</p>
防災安全課	<p>内容についても、個別に相談いただければと思うので、是非活用してほしい。</p>
鈴木（文）委員	<p>今回の案ではどの事業にあたるのか。</p>
防災安全課	<p>施策5の「地域防災力を高める各種講座の実施」になる。</p>
武次会長	<p>ここで休憩を挟み、基本目標3の議論に移る。</p> <p>（休憩）</p>
武次会長	<p>会議を再開する。</p>

	基本目標3について質問、意見はあるか。
鈴木（裕）委員	空家バンクの現在の登録件数を教えてほしい。登録件数も重要だが、片付けるのが面倒、中に入っている物を処分しなければならないなど、空き家があっても貸せない状況がある。福井の事例で、このまま放っておくところになりますというシミュレーションをしている取組があった。家は住まないとどんどん劣化し、資産価値も減っていくなどを実感してもらえるような取組で、すごく効果が出ているという話があった。登録も重要だが、やはりいかに貸せる状態まで筋道を立ててやっていくかということ、また、そういう意識を所有者に持たせることが大切だと感じた。また、この取組を中心となって活動しているNPOの理事長は、自身が工務店をやっている方で、上手く自分の仕事としているなどと思った。やはり全くのボランティアというのはなかなか続かないと思うので、そういった方たちと上手くチームを作って取組をすれば、もっと進んでいくと思う。また、私たちもそういう方がいたら相談したいと思う。
企画課	現在、登録物件数については、2件です。
鈴木（裕）委員	それは、ただ見てもらうというような状態ということか。
企画課	はい。現在は、物件登録をしていただいたものを市のホームページと併せて、国が運営を委託している全国版の空家バンクに掲載している。
鈴木（裕）委員	福井の事例は、地域再生大賞を受賞していたと思ったが、誰でも利用できるサイトになっているようなので、そういうところの取組を参考にしてほしい。
武次会長	空家バンクは、企画課が直接やっているのか。
企画課	企画課が窓口になっており、具体的な物件の調査等は、千葉県宅地建物取引業協会南総支部と業務提携をしているので、協力してもらい物件を確認して掲載につなげている状況である。
武次会長	前回の会議で、民間ができるとか、民間にやらせるとかの話があって、やはり市でそれやるのはきつい話だし、上手くまわるシステムも考えた方が良い気がする。
企画課	担当課でも、新たな取組をしていきたいと考え、具体的な案を来年度提示できるように準備をしている。民間事業者と連携しながら具体的に来年度進めていこうと思っている。
島野委員	市のサイト等を見ると市の災害復旧はほぼ終息し、ボランティアセンターも閉鎖等になると思われるが、せっかく今仕組があるので、ボラン

ティアセンターを衣替えして、空き家の片付けや市の新しい何か売り出すための活動に協力を募るのはどうかと思った。可能なら検討してほしい。

岩沢副会長

数値目標「これからも富津市に住み続けたい」の割合が減っている理由を教えてください。また、16 ページの交通網の関係のアンケートで 11.8%と満足している人の割合が低いですが、どのような考えを持っているか教えてください。もう一つが、17 ページの鳥獣対策の関係で、例えば、お年寄りがせっかく楽しみで作っている農作物を猿が来て食べたり、イノシシが荒らしたりということで、せっかく作っている楽しみが無くなる。畑仕事をやめると健康も良くなり悪循環になる可能性があるのですが、ここで言っている話か分からないが、頭数制限をかけていかないと、根本的に解決していかないと。市だけではなく、全国的に、千葉県としても考えてもらった方が良いと思う。特に、猿、鹿、イノシシです。現地に来てもらうと分かるんですが、柵の中に人間が住んでいるような感じ。こういう暮らしでいいのかな、他から移住してくる人が住みたいと思うのかなと思ってしまう。網とかではなくて、根本的な解決策を考えていかないといけない問題だと思うので、検討してほしい。

事務局

「これからも富津市に住み続けたい」の割合が前回調査と比較して 1.0%減少していることの要因ですが、ピンポイントでこの理由、これが原因で 1.0%落ちているというのは、基本的には不明です。答えていただく方の様々な要因、理由があると思う。アンケートの中で、富津市での生活の満足度ということとさらに詳細な項目を 18 項目、具体的に言うと、働く場所について満足度はいかがですかとか、地場産業の育成についてはいかがですかとか、道路の整備はいかがですか、医療福祉サービスはいかがですかということで、個別具体的な項目を設けた中で、結果を公表しているが、原因は一つではないと考えている。

企画課

公共交通に関しては、「富津市地域公共交通会議」という会議を立ち上げており、平成 30 年 3 月に「富津市地域公共交通網形成計画」を策定し、その計画の中で、地域、市民、そして各種交通事業者と行政が互いに連携し、役割分担をして進めている。その中で満足度を上げていく取組としては、まずは、知っていただきたい、関心を持っていただきたいということで、昨年度、富津市の公共交通をマップにした「富津市公共交通マップ」を作成し、また今年度も改正版を 2 月 1 日に発行した。また、公共交通ニュースという形で自治会の回覧に 2 ヶ月に 1 回程度発行している。さらに今年度は、「富津市タクシー運賃助成事業」を実施している。いろいろな声をいただいているが、そのような事業を進めていく中で満足度を上げていきたいと考えている。

農林水産課

有害獣対策関係ですが、農林水産課では農作物の被害に関する補助等を行っており、農地に網や柵の設置、捕獲自体もやっている。だいた

	<p>い年間 3,000 頭くらいいると言われているが、実際に富津市に何頭いるかというのは分からない状況である。捕獲には努めているが、なかなか捕獲できていない状況である。</p>
岩沢副会長	<p>こういう場なので、どうして捕獲数が減っているのかということをご個人が考えてもらえれば良いかと思った。また、有害鳥獣捕獲従事者についてもそんなに増えないと思うので、他市から支援を受け一斉に駆除するということができないか。解決しないとやはり入ってくる人も増えないと思う。</p>
武次会長	<p>有害鳥獣の関係ですが、ボランティアを募集し、訓練をして、例えば、追い込んで一網打尽にするとかは考えられないのか。</p>
農林水産課	<p>実際、イノシシを見たことがある方は分かると思うが、かなり力もあり狂暴なので、一般の方がちょっと訓練してできるようなことではないので、記載しているように、狩猟免許を取って捕獲者数を増やすのが一番得策であると考えている。</p>
鈴木（裕）委員	<p>金谷でも、住宅地まで出るようになり、フェリー乗り場にもいきなり出てくる。聞くところによると 5、6 頭いるらしいが、地区で捕獲してくれる人に聞いたのだが、檻が無いようだ。檻や仕掛けを増やすことはできるのか。予算的な問題とかあるのか。</p>
農林水産課	<p>農林水産課では先ほど申し上げたように、農作物に関する檻は投入しているが、今年度、環境保全課で新たに市民の生活に対することについて国の方に予算要望しているので、そちらのほうが活用できるかと思う。</p>
鈴木（裕）委員	<p>檻がもう少しあれば捕獲できると思うので、よろしくお願いします。</p>
小泉副市長	<p>今、農林水産課長から環境保全課という話が出たが、現在市は、農作物は農林水産課、市民に関わることは環境保全課で担当している。予定では、4 月から一本化して「室」というのを考えている。出てくるイノシシは同じなので、一本化していくような考えを持っているので、もう少し早い対応ができると思う。</p>
鈴木（文）委員	<p>イノシシですが、出くわすことが度々あり、これまでけがはしていないが、出くわした場合にどのような対応をしたほうが良いか。分かっている人たちは良いのだが、私たちと、子どもや犬の散歩をしている人たち等はどのように対処したら良いのか分からない。向かってくることはないと思うが、どうしたら良いか分からない。</p>
農林水産課	<p>基本的にイノシシは人間に向かってくることはほとんどないが、騒いだりすると向かってくるので、黙ってやり過ごすのが一番良い。また、</p>

	<p>犬がいたりするとそれに向かってくることが、立ち去るとまた追いかけてくるので、おとなしくしているほうが良い。</p>
鈴木（文）委員	<p>イノシシには何度も怖い目に遭っているが、もっと良い対応策はないのか。竹岡の私の自宅である寺付近の国道 127 号に抜ける沿線にも出てきているが、そこは子どもたちや犬の散歩や地域の皆も散歩している。まだこのくらいだから大丈夫ではなくて、誰か亡くなったりしては大変なので、とにかく早く対応してほしい。</p>
高橋市長	<p>竹岡の状況も、金谷の港のすぐそばまで普通に歩いていることも確認させていただいている。組織に関しては、来年度、一本化して、対応しやすくなるようにと副市長から説明させていただいたが、これまでもくり廻りを配給し、捕獲の強化をしてきたが、残念ながら全体的には減っていないというのが実感で、おそらく皆さんも生活する中で感じていることだと思う。一つの市だけで取り組んで解決するレベルではないので、しっかりと県を中心に近隣自治体と協力して、先進市等で効果的な方法でもあれば研究を重ねながら安全を確保できるように努めていきたいと考えている。</p>
島野委員	<p>何年か前に実家の近くに檻を設置してもらったが、担当者が頻繁に見に来てくれた。檻を増やすのはもちろん必要だが、結局、稼働がかかるため、その稼働は誰が負担しているのかというのが気になった。コメントだが、先程のボランティアの活用に関連して、イノシシ等は里山をきれいにすると、そこよりは内側には入ってこないという話があり、それは専門家もよく言っている話で、ボランティアに里山の整備を手伝ってもらおうというのも一つの答えではある。すぐに効果は出ないかもしれないが、きれいにしておかなければ結局いつまでたっても減らない。この辺でも岩瀬に出たという話がある。</p>
農林水産課	<p>檻の管理は、富津市有害鳥獣対策協議会に管理を委託している。また、イノシシ棲み家撲滅特別対策事業交付金というものがあり、耕作放棄地の中にイノシシは巣を作る傾向があるので、その草刈りに対して補助金を出している。</p>
島野委員	<p>檻を増やせば委託費が増えるということでしょうか。</p>
農林水産課	<p>費用については、檻が増えれば、管理費用も増えるようになっている。</p>
島野委員	<p>単純に檻を増やせば、どこかをへこまさないといけないということか。</p>
武次会長	<p>予算としてですね。</p>

島野委員	公共交通の話で、これは随分前から市の担当者とも話しているポイントの一つだが、例えば、茨城県の山の中で、自動運転バスの運転を本格的に実用化するというのがあった。事業費は、5年間で5億2,000万円と決して小さい額ではないが、公共交通を維持するためにはそれぐらいの負担は掛けなければならないだろうなと思った。ただ、今の段階でいうと、ひょっとしたら市の金を使わなくても、国の金を使えるのではないかと思った。そのあたりは研究されると良いと思いますがいかがか。
企画課	今の話は、茨城県の境町でソフトバンクの子会社のSBドライブという会社と共同でやるというような報道だと思う。確かに、5年で5億2,000万円というのは多額ですが、政府でも、国土交通省や環境省など、道の駅を中心とした実証実験などが行われているので、そういったところを注視しながら、費用が掛からないようなことがあれば国の施策等を参考にしながら検討していきたいと考えている。
島野委員	是非、検討をお願いします。この目標値「公共交通網の整備に満足している人の割合」を11.8%から25%にするというのは今の状態ではとても普通にやっけてはできないのではとっていて、今までやらなかったことをやらないと駄目なのではないかと素直に思っているので、検討をお願いします。
鈴木（敏）委員	基本目標3の「くらしやすく、移住しやすい環境づくり」を考えるに当たり、公共交通機関に関して、アンケート結果も11.8%と低い数値となっている。我々企業としては、特に新富の工業地域としては、公共交通の充実というところが一番気になる場所である。数値目標で「これからは富津市に住み続けたい」の割合を見ても、やはり住んでいる方はこのまちは非常に良いところと実感しているが、移住したいというところになると、都会からこちらになると、まず、公共交通機関の充実が気になる場所だと思うので、充実に向けて尽力してほしいと思うので、よろしくお願いします。
武次会長	次に、基本目標4について質問、意見はあるか。
小泉委員	23 ページの目標値のノリ生産者数について、2024年は現状維持となっているが、ここ何年もの不漁の中で、今年が一番悪い年になり、既に20軒くらいがやめると言っている。目標値はノリ生産者数ではなく、生産枚数にしてもらえないか。
農林水産課	生産枚数も考えたが、自然の状況にかなり左右されるため、ノリ生産者数を目標値とした。
岩沢副会長	鋸山を日本遺産にしようという話があり、何か観光の目玉とか戦略をやっていく期間の起爆剤のようなものを一つ作った方が盛り上がるので

はないかと思う。また、それをきっかけに、地元の産業等を見直すきっかけにもなるのかなと思うので、そういったものを入れられるのか、入れられないのかを教えてください。

商工観光課

鋸山の日本遺産登録に向けては、生涯学習課が申請しているが、戦略中に入れるということについては、23 ページの中ほどに「歴史文化資源の活用」という事業があり、鋸山だけではなくて、資源の活用という意味で統合したような形にしている。また、鈴木（裕）委員も進めているガイドなどもこういった中に入ってくると思うので、協力をいただきながら進めていくことも考えている。

岩沢副会長

いろんなことをやっていくことは良いと思うが、マンパワーや予算は決まっていると思うので、やはり、めりはりを付けることや重点施策をやるということが一つの考え方かと思う。

島野委員

施策5と施策6は別々に書かれているが、例えばインバウンドの観光客を引き込むために、「ふっつの魅力発信事業」には英語や中国語のコンテンツは提供されているのか。日本の中で新しく富津市に来たいという観光客を探すより、外国人を呼ぶ方が今のやり方かと思う。もちろん国内のウェブサイトに掲載するのではなくて、現地のものに掲載することが大事であるし、口コミやFacebookも観光客が書いてくれたこと、現地の言葉で書いてくれた観光情報がとても重要。そういうところを少し、観光客数の結果数値ではなくて、その先行指標としてカウンターを少し作った方が良いと思う。

もう一つ、何度か高橋市長とお話したときに提案させていただいたことでもある企業の活動と呼ぶことについて、今、商品のテストやサービスのテストをどこかの場所でどこかの人を借りて実施したいというニーズはとてもあって、例えば鎌倉市や横浜市は、民間主導でそういう企業誘致のお手伝いみたいなことができています。たとえば富津市も、ある商品のテスト等を上手く拾える仕組みを作るのが良いと思っていて、上手く受け皿作りを作っていくことを考えてもらえると良いと思っている。これは商工観光課だけの仕事ではなく、例えば、戸田市だと、学校に教育系の教材の業者が直接入り込んで直接学校と相対で、教材の試験等を行っている。そうやって他の自治体は上手く民間の力を活用しているので、市役所だけで何とかするというのではなく、もう少し外の人たちの力を借りるとか、住民の力を使うとかの施策があっても良いかと思う。

企画課

市民アンケートや市民委員会でも、情報発信については、不足しているのもっと発信してほしい、また、発信の手段が画一的でもう少し発信方法自体の検討もしてほしいというような意見が多い中で、そういった意見を施策にどのように反映させるかを考えて進めてきている。「ふっつの魅力発信事業」には掲載している媒体を書いているが、情報発信は特定の部署だけが行うものではないので、各部署があらゆる手段を考え、

また、民間等と連携し、情報をどんどん発信してくというのが必要なことであると考えている。また、多言語については、市ホームページは英語、中国語、韓国語に対応しているが、今後発信していく媒体については、発信目的、発信相手をしっかり勘案した上で検討していく必要があると考えている。

島野委員

広報とかが十分だねというふうに一般的に言われるぐらいにやると物凄くお金と手間がかかるのは確かだと思うし、そこばかりやると肝心の中身がなくなるような気もする。最低限これくらいはやりましょうというのはあると思うので、是非その見極めも含めて充実をお願いしたい。

鈴木（裕）委員

先ほどから、鋸山の日本遺産登録への話がありましたが、高橋市長には非常に感謝しています。また、私の立場でできることは最大限やっていきたいと思っている。しかし、厳しいハードルもあるので、別軸というか、ある意味それに頼らなくてもよい方策をしっかりと話し合っていかなければと思っている。既に富津市観光協会でも、千葉銀行からアドバイスをもらい、DMO ができないかということに関してアドバイスをもらっている。また、国やいろいろなところからお金を引っ張ってくることや、いろいろなところにアンテナを張りながらやっていけたらというふうに考えている。DMO については、木更津市が先行してやっているが、そういったところとどうやって連携していくのか。大きいところから支援を仰ぐようなことを、積極的に進めていけたらと思っているので、是非、勉強して教えてほしい。これは意見です。

オノミチ委員

自分が市民としての立場からやれることを、市にも貢献していくところでは頑張っていきたいと思う。

武次会長

以上で議題（１）を終了する。
全体を通じて、意見等はあるか。

島野委員

先ほど、一度議論になった PDCA の件だが、私が委員になった直後の時に話したポイントだと思っている、どうしても５年間のサイクルで PDCA を回すのは長いし、少し問題があるのではないかと考えている。せめて１年、２年くらいにならないかと。そうだとするとアンケートに頼った効果測定だとどうしてもタームが長くなるので、何かしらの統計データ、もしくは先行事業をベースに議論できるようなものが必要かと考えている。私の会社も民間企業なので、民間的に言うと５年間で１ラウンドというと、もう競争に必ず負けてしまうだろうなと思っているので、そのへんを考えてほしいと思う。

また、全体的に言うと、今回提案してもらっている個別の施策は、結構効果測定が難しく、やりっぱなしになりがちなものが多いというふうに見受けた。そういうものの塊の中で、どうやってその施策としての効

	<p>果を出すのが難しいのではないかと考えているので、もう少し工夫が必要かと全体として思っているのですが、是非、検討をお願いしたい。</p>
武次会長	<p>続いて、議題（２）その他について、事務局から説明を求める。</p>
事務局	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。全ての意見等にお応えできるか分かりませんが、この後、完成版に向けて検討していきたいと思う。</p> <p>その他につきましては、事務局からはありません。</p>
武次会長	<p>それでは、（２）その他について終了する。</p> <p>本日の会議内容については、会議録の確定をもって取りまとめさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもって全ての議題を終了する。</p> <p>進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>5 閉会 小泉副市長あいさつ</p> <p>(終了時刻 午後 3 時 54 分)</p>

以上